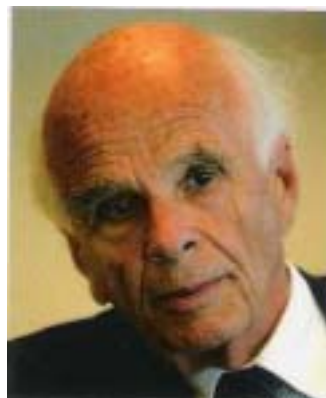


## アーヴィン・ラズロ (Ervin Lazslo)

1932 ハンガリーのブダペストで生まれ、音楽に興味をもちやがてピアノの演奏家として世界中に名を知られるようになりました。しかし彼がピアノ演奏を契機に世界中を旅する中で宇宙の誕生・進化そして運命について考えることになり、種々の学術分野にわたる膨大な文献を勉強し自分独自の進化論いわゆる総括的進化論 (General Evolution Theory=GET) そして大統一論 (Theory of Great Union) を展開しました。今日、ラズロはピアニストのみならず哲学者、システム理論者、未来理論者などとして評価されています。



ラズロは75冊以上の本を著作しその大多数が多くの外国語に翻訳されています。

彼の本の邦訳

1. 進化の総合心理、1996
2. 叡智の海 物質・生命・意識の統合理論、2005
3. カオス・ポイントー持続可能な世界のための選択、2006
4. 生ける宇宙 科学による万物の一貫性の発見、2008
5. CosMos コスモス、2008
6. グローバルブレインみらいへの鍵 地球崩壊を止めるためによりよい世界へ向かう世界頭脳のクアंटムシフト、2008